山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2018年9月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

# 山村塾通信

## 奥八女芸農プロジェクト　アート×農

8月24日から9月20日の４週間、えがおの森にて、九州大学ソーシャルアートラボ（以下、九大ＳＡＬ）との連携により、新しい取り組み「奥八女芸農ワークキャンプ」が行われています。九大ＳＡＬとの連携は今回で４年目。「奥八女芸農」の名前を使うのは昨年からで、今年からはなんと！国際ワークキャンプに「アートプロジェクト」を混ぜ込みました。「アート×農」の可能性をさらに掘り下げて考える取り組みです。具体的には、アーティストの武田力さん（演出家、民俗芸能アーカイバー）にワークキャンプの一員として参加していただき、国際ボランティアのメンバーと寝食を共にしながら、半分の時間を農作業（棚田の保全）、もう半分の時間をアートプロジェクト（笠原の民俗芸能を考える）に取り組んでもらっています。つまりは半農半アートです。

山村塾がはじめて合宿ボランティアを行ったのは、1997年の四季菜館建設直後の「日英合同里山・田園保全ワーキングホリデー（10日間）」。2007年からは、えがおの森にて80日間の国際ワークキャンプ「里山80日ボランティア」を実施してきました。最初は物珍しかった国際ボランティアも、今ではすっかり地域に馴染み、外国人が棚田で作業していても、地域を散歩していても誰も驚きません。普通の風景になりました。「わざわざ外国人じゃなくてもいいんじゃない？」と疑問を持たれることもありましたが、外国人が農村に滞在し、棚田や森林の手入れを行うボランティアとして活動することは、受け入れ側である私たちが、その仕事の意味を丁寧に考え、正しく伝える機会を作り出してくれます。既存のコミュニティの中では慣例や常識に縛られ、特定の意見に引っ張られてしまうことがありますが、多様な年代や性、居住地の人たちが交わることで、お互いを理解し尊重しあうことにつながり、本当に大切なものが何なのか気づかせてくれるように思います。

今年からスタートした「奥八女芸農ワークキャンプ」では、アートの視点によって、棚田や里山、農山村地域の新たな魅力を見いだせたらいいなと考えるとともに、アーティストがワークキャンプに参加することで、アーティストとボランティアという「ヨソモノ」が主体性を持って、いろいろな活動を展開してくれることを期待します。1997年から20年かけて取り組んだ国際ボランティアのように、成果が見えるのはまだ時間がかかるかもしれません。「アート×農」の取り組みはまだ始まったばかり。今後が楽しみです。（小森耕太）

（参考）九州大学ソーシャルアートラボ実践講座　シリーズ「アートと社会包摂」
http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/180829-0916okuyame.html
武田 力さん　WEB サイト　http://riki-takeda.com/

# 稲作コースより

今年も米作りのシーズンが始まりました！毎回びっくりするような暑さのなかでの行事でしたが、たくさんのご参加ありがとうございました。大人たちが田んぼでの作業に励む中、子どもたちは田んぼの周りを走りまわり、カエルやカニ、トンボなどの生き物と追いかけっこ！…という風景がたくさん見られた夏でした。アイガモを果敢に追いかけ捕まえる姿もとても頼もしかったです。

米作りには〝八十八の手間がかかる〟と言われますが、こうして折に触れみなさんが賑やかに米づくりに関わってくださるおかげで、今年も稲はすくすくと順調に育っています。収穫の秋はもうすぐです。稲刈りもどうぞよろしくお願いします！（原 愛子）

にぎやかに田植え！

**◆6月17日（日）田植え**
参加者：会員43名、一般39名、WC5名、スタッフ9名、計96名
場所：稲作コース棚田

**◆6月24日（日）鴨進水式**
参加者：会員28名、一般14名、WC5名、スタッフ7名、計54名
場所：稲作コース棚田

**◆7月15日（日）田の草取り**
参加者：会員16名、一般6名、スタッフ4名、計26名
場所：稲作コース棚田

**◆8月26日（日）鴨の引き上げ**
参加者：会員23名、一般8名、WC5名、スタッフ6名、計42名
場所：稲作コース棚田

アイガモ
つかまえた～！

# 農家の声

**通信に寄せて！！**

「暑かー！」お盆過ぎれば過ごしやすくなるかと思いきや、なかなかですね…。いかがお過ごしですか！

亜熱帯気候への予測はしていましたが、熱帯気候へ一目散、乾期･雨期現象、そして季節も春･秋なしの夏・冬のみで推移するような状況になりました。自然相手の我が家の農業も大変です。１～２月の厳寒期は冬野菜が収穫皆無に近く、夏野菜は少雨にもかかわらず高温で生育が早く、これは雑草の生育も同様で、多忙な夏でした。異常気象が当たり前の出来事となり、もっと厳しい現象が発生しても不思議でないようです。

今後どう対処すればいいか的確な回答を見いだせないなか、とりあえず言えるのは、「まだ間に合う、今こそ」エコ的なスタイルの実践。7月に「山村塾シニアクラブ」を結成しました。山村塾で出会った60代を中心に、5名（5組）と、地元シニアも含めて活動開始です。「里山の景観づくり！」をモットーに、身近なところから少しずつ取り組みます。将来的に笠原の景観が四季折々楽しめて、たくさんの方の心身を豊かにできればと思っています。

そうそう、田んぼの米は順調です（今のところ）。アイガモも回収率は決して高くはありませんが、稲刈りの時には新米と太ったカモ君が待っとるよ～！

「おやつにおにぎり」。久しぶりの提案です。皆さん、ごはんをたくさん食べましょう！

百姓　**椿原 寿之**

# 山林コースより

夏の山仕事、下草刈り。暑い中での大変な作業ですが、草刈り後の爽快感がやみつきになる！と、実は隠れファンが多い行事です。

今年の下草刈りは残念ながらお天気に恵まれず…1回目は雨で中止となり、２回目も台風を心配しながらの作業となりました。それでも笠原まで足を運び、ご参加くださった皆さまありがとうございました！

7/29は午前中までの作業でしたが、少数精鋭でもくもくザクザクと草を刈り、一番草刈りが必要なエリア（約25a）の作業を無事に完了することができました。宮園さんもびっくりのスピードでした！これでクヌギとスギの苗木たちは、今年もすくすく育ってくれることと思います。

このようにして、山村塾設立当初から森づくりを行っている場所「ケヤキ林」では、おかげさまでいろんな広葉樹が育ってきていて、散策するのも楽しい場所になっています。

これから秋・冬は山林コースのシーズンです！山の活動にもぜひご家族でいらしてくださいね。（原 愛子）

**◆7月29日（日）下草刈り**

参加者：会員3名、一般3名、
スタッフ5名、計11名

場所：ケヤキ林

※7月8日（日）の下草刈りは豪雨の影響により中止。

少数精鋭でがんばりました！

背丈ほどの
草をザクザク！

9月に入ったにもかかわらず、まだまだ暑い日が続いています。

今年は早い時期から台風が日本列島に上陸したり、各地で大雨に被害が出たりと、異常気象が続いております。地球の悲鳴？警告？と思ったり…。特に今年は気温が高く、口を開けば「暑い」としか出てきません。

それでも最近は夜がようやく涼しくなり、虫の声も聴こえるようになってきました。笠原の風景も少しずつ収穫の秋へと変わってきました。田んぼには稲穂が出て、こうべを垂れ始め、栗の早ものの品種は収穫が始まりました。花も、彼岸花の前に咲くオレンジ色の『キツネのカミソリ』が花盛りです。

一方で、どれだけ雨が降らなくても気温が高くても、田んぼや茶畑には雑草がどんどん生えてきます。そのため私の最近の仕事は、この暑さの中での除草作業。涼しいクーラーのきいた部屋での仕事を想像しながら、終わりのない作業に途方にくれるばかり…。まだまだ修行が足りないのか？前世のつけが回ってきたのか？とついついネガティブ思考に陥りがちです。子供が自立するまで！という目標の元に日々がんばり続けております。

秋は山林コースの行事や収穫祭など、山村塾の行事も増えていきますので、ぜひとも笠原に足を運んでくださーい！そのころには気候も少しは穏やかであってほしいと期待しながら…お待ちしております！

田んぼの草取りに励んでいます

**山林コース　宮園 佐津美**

# ワークキャンプ レポート！！

## 里山80日ボランティア（2018.4.28～7.16）
## レポート：ファン ポウェイ

7/16に夏の里山80日ボランティアが無事に終わりました。僕にとって山村塾に来て最初のワークキャンプでしたが、ボランティアたちと一緒に生活しながら、貴重な経験を得ることができました。

フランス人のイザック、エリオット、カンティン、日本人のリクとユウトの5名のメンバーは、慣れない笠原の地でお互い相手の気持ちや習慣を尊重し、支えあいながら80日間を完走しました。

メンバーたちは当然それぞれ個性があるのですが、日々生活や仕事を共にするなかで、良いチームワークを作り上げていきました。ある時振り返りのなかで、イザックが「私は仕事を残さず完了させないとイライラしてしまう性格だ」と発言しました。しかし、作業量はたくさんあり、毎回完了できるまでやることは不可能です。みんなは意見の共有やワークを重ねていきながら、作業の進展よりも互いの体調や作業のやりやすさを重視していくようになりました。また、ユウトはみんなと会話ができるよう、毎日フランスのメンバーに積極的に話かけながら、英会話によく使う単語を覚えていきました。

もくもくとラッキョウの仕込み…

この80日間は様々なワークを行ってきましたが、特筆すべきは棚田の草刈り、ラッキョウの加工、そして山村塾のイベントサポートの3つです。猛暑の中で1haの棚田の草刈りはとても大変で、計約45人日の時間がかかりました。棚田の草刈りは平地と比べると難しく、特に石垣では、上部から斜めに草刈り機を入れたり、畦際のカーブに沿って仕上げをしたりと困難で、スキルも体力も向上したのではと思います。ラッキョウの加工は単調な作業が続き、退屈になりがちでしたが、その場で音楽を流し、歌ったり音楽の話で盛り上がったりしながら、全部で約150kgのラッキョウを漬け込みました！そして、山村塾のイベントでは、運営の手伝いや子どもたちへのサポートなどを通じて、たくさんの参加者の方々と交流することができました。

今回のメンバーたちはそれぞれ、日本の生活や農山村での仕事に対する様々なイメージを持ち、実際に体験するために笠原に集まりました。農作業だけでなく、日常の共同生活のなかにも初めて取り組むことが多かったようですが、みんな苦労しながらも、だんだんと上達していきました。食事は3食自炊で大変でしたが、カンティンは美味しい親子丼の作り方を習得することができて喜んでいました。笠原小学校の跡地に行く機会もあり、メンバーたちはアニメでおなじみの学校の校舎の間取りや道具、飾りなどを見ることができてとても楽しかったようです。日本の農山村で実際に生活した経験は、彼らの大切な宝物になるでしょう。

80日間ありがとう！

山村塾のワークキャンプでは、ワークの進捗も大事ですが、メンバー自身の成長と、ここでの経験をこれからどう生かしていくかという将来像も大切にしています。リクはこれから1年をかけて世界各国でのボランティアに参加します。その最初の1歩目として山村塾のワークキャンプに参加しました。初めはヤギに触ることができませんでしたが、今回ヤギの扱い方を学び世話をしていくなかで、ヤギと仲良くなることができました。これから彼女は畜産が盛んな国に旅立つので、ここでの経験を生かせるように祈っています。

今回のワークキャンプの終わりに、80日間の成果を確認するためにみんなと笠原をぐるっと車でまわりました。地元の農家さんとの交流や、ヤギとのふれあい、棚田での苦労など様々な思い出が出てきました。お別れパーティでは写真を交えながら思い出をみなさんと共有しました。パーティーには地元の方々もたくさん参加してくださり、素晴らしい繋がりがたくさんできたことを実感しました。

この80日間、本当におつかれさまでした！また、今後ともどうぞよろしくお願いします。

お互い支えあい前に進む素敵なチーム！

## 台日交流ワークキャンプ（2018.7.18 ～ 26）
## レポート：米徳 かす美（リーダー）

7 月 18 日から 7 月 26 日で台日交流ワークキャンプが行われました。今回は台湾人 12 人、日本人 2 人が参加しました。田んぼの草取りや竹皮集め、らっきょうの定植、先日の豪雨による水路の土砂のかき出し、こもれびの家の学童との交流を行いました。このような作業の他にもお茶のワークショップとして八女茶を闘茶会の形式で味わってみたり、竹皮編みのワークショップでこの地域の竹林の歴史を写真を交えて話を聞き、実際に小さな花かごを作りました。

エネルギッシュ！な台湾×日本メンバー

毎朝早起きして自らご飯を作り、暑い日差しの中で作業を行うことは、最初は慣れずに眠かったり大変だったりしました。しかしこのような環境の中で暮らしているうちに、家に戻ってからはクーラーをあまり使わないようにしよう、といった考え方や、食べ物は粗末にせずに再利用できないか考えたいなど、持続可能な環境について考えるようになりました。

今回学んだ日本食を台湾でも作りたいと言う人や、また機会があれば山村塾に戻ってきてここでの生活を楽しみたいなど、日本の文化や生活を皆心から楽しみ、体験できました。あっという間の期間でしたが、言葉や文化の壁を全く感じないくらいに、一つになり学び楽しみお互いの時間を共有出来ました。笠原のみなさん、そして山村塾の皆さん、私たちを受け入れてくださりありがとうございました！

特別インタビュー

## ワークキャンプにひとこと！

えがおの森のご近所に住む松尾さんご夫妻に
ワークキャンプの思い出についてお聞きしました！

**松尾 高生さん・絹代さん**

山村塾のワークキャンプとは、始まった当初から関わりがあります。ここ毎年は我が家の田植えと稲刈りをボランティアに手伝ってもらっています。とても助かっていますし、おしゃべりをするのも楽しみです。今年は田植えの手伝いに来ていた息子夫婦も初めてボランティアと一緒に作業したのですが、お互いとても仲良くなって喜んでいました。家族ぐるみでお付き合いをさせてもらっています。

またこの夏は台日ワークキャンプのボランティアにもお世話になりました。7 月の豪雨で農地につながる水路が土砂に埋まってしまい、水路を管理している地元 2 軒の力だけでは復旧が難しいと思っていたのですが、みんなに手伝ってもらい無事に復旧することができました。大変ありがたかったです。

台日ＷＣメンバーと水路復旧作業

ワークキャンプが始まったばかりのころ、ボランティアに対しては物珍しいような気持ちがあったと思います。それが変化したのは、6 年前の豪雨災害のとき。若い人たちがたくさん来て、我が家の田んぼの復旧作業を手伝ってくれました。涙が出るほど嬉しかったです。希望を無くしていた時に、その姿を見て力が湧いてきたことをよく覚えています。この時の思い出があるので、笠原に来てくれる人たちは快く受け入れたいという気持ちがあります。

外国人に対しても、最初はやはり戸惑いや警戒心が少しあったのですが、あるときフランスの子にお茶を出したら、その子がバッグの中を必死に探し始めて、飴をひとつ取り出して渡してくれたんです。国は違っても、言葉は通じなくても、なにかお返しをしたい！という気持ちは一緒なんだな、心は同じなんだなあと感動した覚えがあります。それ以来、外国人を見る目が変わったし、仲良くなりたいなと思うようになりました。言葉はわからなくても、ジェスチャーを交えながらやりとりするとけっこう言いたいことは伝わるものだと思います。最近では私の口から英単語が出てくるようになりました（笑）。

山村塾にやってくるボランティアたちとは、お互い助け合っている関係だと思うし、他人ではないと思っています。笠原の人たちはワークキャンプに力をたくさんもらっています。いつもありがとう、これからもよろしくお願いします！

# 山村塾ニュース

**武田力（アーティスト）**

奥八女へは初めて訪れましたが、出身は熊本です。滋賀の「六斎念仏」という一度絶滅した芸能を芸術を用いて復活し、継承しています。今回はこの笠原地区の民俗芸能をみなさんとつくりたいと思っています。よろしくお願いします。

### ◆奥八女芸農ワークキャンプ開催中です！

巻頭でもご紹介したとおり、8/24 より「奥八女芸農ワークキャンプ」開催中です！〝半農×半アート〟をテーマに、アーティストの武田力さんと、ロシア＆香港からの 3 名のメンバーが一緒に合宿生活を送りながら、休耕田の草刈り等の農作業を行いつつ、〝笠原に新たな民俗芸能を立ち上げる〟というアートプロジェクトに取り組む日々を送っています。

### ◆活動コース、ただいま検討中です

山村塾では、昨年 12 月より Panasonic サポートファンド助成金を活用し、活動コースの検討を行っています。会員の皆さんにはアンケートでのご協力を頂き、ありがとうございました。

25 年続けてきた行事運営ですが、立ち上げ当時と現在の状況が合っていない仕組みもあります。そこで、より充実した持続的な体制を目指し、NPO 法人アカツキさん協力のもと、理事、事務局で「新しい活動コース」について検討を続けています。

検討課題は 2 つ。一つは年会費の仕組みです。今は稲作、山林、古里の活動コースに入会すると行事の参加費は無料という仕組みですが、行事に参加する会員さんと参加しない会員さんがいることや、新しい方が入会しやすくなるように、年会費の価格を抑え、行事ごとに食事代を頂くような仕組みを考えています。「行事には参加しなくても山村塾を支えたい」と会員を継続してくださる方にも続けやすい仕組みとなります。

理事・職員とアカツキさんとで検討会を行いました

二つ目は運営サポーターの仕組みです。行事を実施する際に農家と事務局が担ってきた役割に参加して、行事を盛り上げて下さる方を募集したいと考えています。これまでも会員の皆さんにはいろいろとお手伝いをお願いしてきましたが、その役割をもう少し明確にし、制度化することを目指しています。ボランタリー且つ継続的に行事運営を支えて下さる方が増え、今以上に和気あいあいとした、山村塾らしい運営が出来るようになるのではと考えています。

今後も議論と検討を重ね、2019 年度総会で新しい活動コースについての提案が出来るよう整えていく計画です。皆さんのご意見もぜひお寄せいただきたいと思います。今後とも活動コースへのご参加、ご協力をよろしくお願いします！（文責 小森 文子）

# その他の活動報告

**～6月～**

- **6/2 土 ) ～ 3( 日 ) 宮永茶屋ワーク＠宮若市**
  参加者：15 名（会員 0、一般 7、WC5、スタッフ 3）
- **6/16( 土 ) 田植え準備ワーク＠四季菜館**
  参加者：15 名（会員 7、一般 1、WC3、スタッフ 4）
- **6/25( 日 ) 棚原棚田米プロジェクト田植え**
  参加者 30 名（会員 1、一般 13、WC5、スタッフ 11）
  場所：屋敷の棚田、えがおの森

**～8月～**

- **8/3( 金 ) ～ 5( 日 ) 山村たんけんキャンプ**
  参加者：34 名（会員 8、一般 13、スタッフ 13）
  場所：四季菜館、ケヤキ林など
- **8/18( 土 ) ～ 19( 日 ) 里山ミニワーク「棚田の草刈り」**
  参加者 10 名（会員 1、一般 4、スタッフ 5）
  場所：四季菜館、笹原の棚田、レンガクボウの畑

楽しかったね！

## ～山村たんけんキャンプ～

笠原の自然の中で思いっきり遊ぼう！ 8/3 ～ 5 の 3 日間、夏休み恒例の山村塾子どもキャンプを開催しました。とにかく暑かった今年の夏。キャンプ期間中もギラギラと太陽が照りつける猛暑のなかでしたが、21 名の小学生と中学生リーダーたちは元気いっぱい山に川に田んぼにと走り回りました。（大人たちはいつも、この子どもたちの底なしのエネルギーに圧倒されてしまいます…！）

おもいっきりジャンプ！

キャンプの一番の楽しみはやっぱり川遊び！毎日川遊びをして、飛び込みにもチャレンジしました。他にも、ノコギリや小刀を使って木の名札や竹の水鉄砲、食器などを作ったり、夜の探検ではカブトムシをたくさん見つけることができました。そしてこのキャンプのモットーは、思いきり遊んで仕事もがんばること！夕ご飯づくりや朝の野菜収穫、お宮の掃除などの仕事もがんばりました。特に最終日の田んぼの草取りは、とっても暑いなか泥んこになりながらの作業でしたが、しっかり草取りをがんばってくれました。みんなのおかげで田んぼがきれいになりましたよ～！

田んぼの草取り、真剣！

元気いっぱい 21 名の子どもたち

あっというまの 3 日間でしたが、友達と思い出がいっぱい作れたかな？笠原の自然を思いっきり楽しんでいる子どもたちの姿に、私たちも元気をたくさんもらいました。ありがとう！またいつでも笠原に遊びにきてくださいね！

ごはん炊きも
ばっちり～

## ～棚田の草刈り～

暑い中おつかれさまでした！

8/18 ～ 19 の 2 日間、棚田の草刈りを行いました。この時期に草刈りをすることで、9 月中旬になると一面に咲く彼岸花を楽しむことができます！道路から見えますので、きれいになった棚田を見てみてくださいね。草刈りおつかれさまでした！！

# 事務局より

**特例認定 NPO 法人山村塾　会員募集！**
●会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の 2 種類です（どちらも個人 5,000 円、団体 10,000 円）。
●いっしょに田んぼや山で働く、活動コース（稲作・山林、稲作、山林、古里）の加入をお待ちしております！

**ご寄付のお願い**
山村塾の活動は、皆様からのご寄付で支えられています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
＜ヤマヤマ基金＞農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。
＜平成 29 年豪雨支援＞山村塾では寄付を活用し、朝倉市黒川地区の復興を支援します。
■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８
※通信欄にどちらのへのご寄付かご記入下さい。
■銀行から
　銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
　口座：当座　０１６９３９８
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレス、寄付先をお知らせ下さい。
■農産物を買う：会員の方が椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割が**ヤマヤマ基金**へ入ります。

◎**年会費納入**　以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。（8/31 入金まで。敬称略）
■**正会員：**平島誠一郎（古里）、特定非営利活動法人こもれびの家　理事長毛利赫子（稲作・山林）、野田佐智子 ( 稲作)、椿原寿之、椿原まり子、永井弘子
■**賛助会員：**岩村実歩（稲作）、江里文子（稲作）、椛島のり子（稲作）、原龍朋（稲作）、兵頭靖博（稲作）

◎**寄付者** 以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。（8/31 入金まで。敬称略）
■**一般寄付金：**ＫＤＤＩ株式会社九州総支社、公益社団法人日本フィランソロピー協会
■**ヤマヤマ基金：**山中祥子、特定非営利活動法人こもれびの家、冨里孝子、重松典子、重松ヨシ子、大橋鉄雄、毛利赫子、三好朋子、椿原勇人、宮園福夫、川﨑光洋、朝廣和夫、松延正博、森山正、久津輪勝男
■**平成 29 年豪雨支援：**野田佐智子、株式会社ベストコミュニティ

# 今後の予定

| 日程 | 行事名 |
|---|---|
| 9/24（月・祝） | 笠原棚田米プロジェクト「棚田と彼岸花の見学ツアー」 |
| 10/14（日） | 稲作コース「稲刈り」 |
| 10/20（土）～ 21（日） | 里山ミニワーク「炭焼き・枝打ち」 |
| 10/21（日） | 山林コース「枝打ち」 |
| 10/27（土）～ 28（日） | 全体行事「鴨さばき」 |
| 11/10（土） | 収穫祭準備 |
| 11/11（日） | 全体行事「収穫祭」 |
| 11/25（日） | 山林コース「間伐」 |
| 12/9（日） | 稲作コース「もちつき・しめ縄づくり」 |

**【参加費について】**
行事は活動コース会員は無料、一般は 4 歳以上 1,000 円。ミニワークおよびその他イベントはホームページ、Facebook、チラシ等で詳細をお知らせしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

**【お申込み】**
どのイベントも、どなたでも参加頂けます（一部年齢制限あり）。事前申し込み制です。事務局までメール、電話、FAX でお申込みください。

**【基本の持ち物】**
作業着（長袖、長ズボン※ハチ対策として黒っぽい服はさける）、作業靴、軍手、着替え、タオル、帽子。
※雨天決行です。雨天の場合は合羽、長靴。
※宿泊を伴うものは、着替え、洗面道具をお持ちください。（シャンプー、リンス、せっけん等は備え付けがあります）

**山村塾フェイスブックページ**
https://www.facebook.com/sansonjuku
山村塾のフェイスブックページです。「いいね！」を押してご参加ください。近況報告や行事の紹介、スタッフのつぶやきなどを発信しています。

＼山村塾 facebook ／　　＼山村塾ホームページ／

＼お問い合わせ大歓迎！／

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾 **特定非営利活動法人 山村塾**
〒 834-1222
福岡県八女市黒木町笠原 9836-1 えがおの森
TEL・FAX 0943-42-4300
事務局携帯 080-8562-4558
**Email**：info@sansonjuku.com **HP** http://sansonjuku.com
**FB**　https://www.facebook.com/sansonjuku
理事長：宮園 福夫　　事務局長：小森 耕太